

大山の森だより

2024年春号

春は黄色から

春、特に早春に咲く花には黄色い花が多くみられます。ロウバイや菜の花、大山の森ではマンサクやダンコウバイ、キブシなど。なぜ黄色い花が多いのでしょうか。

カラフルな花は別に人を楽しませるためのものではありません。受粉によって種子を結ぶために、花粉を媒介する生き物に気づいてもらうための看板です。たんぱく質が豊富な花粉や、エネルギー源になる糖質である蜜を用意して生き物を待っています。



春先、黄色い色に反応して集まってくるのはハナアブの仲間です。黄色と黒の縞模様をしたハチにも見える昆虫ですが、実際はハエの仲間です。ハナアブはハチの仲間より低い温度から活動を開始します。それで春先まだ寒い時期の花に黄色が多いのです。



1～2月 自然ふれあい事業 活動報告



○「スノーシューで行く 願掛け地蔵に願いを込めに」

開催日:2月3日(土)

大山寺に伝わる願掛けの方法をアレンジしたスノーシューツアー。福山市や鳥取市など遠方や日本に住んでいる外国人など13名の方が参加し、金門で願いを込めた雪玉をつくり、丘向こうの願掛け地蔵に奉納しました。



○「幻の御旅所?から絶景を見るスノーシューツアー」

開催日:2月25日(日)

参加者は途中の遺跡や動植物の解説を聞きながら、尾根筋にある御旅所を目指しました。出発時には曇っていた大山も、御旅所につく頃には青空が見え、遠くに日本海や島根半島を臨むことができました。

※1月13日の「スノーシューで行く大山・幻の滝」は積雪不足により中止となりました。



■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。

予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。






裏面にイベント情報を掲載しています。

大山の寄生植物



他の植物に寄生し栄養分を吸収して生育する植物を寄生植物と言います。寄生根と呼ばれる特殊化した根で相手植物(寄主または宿主)の組織と結合して栄養分を吸収するのが特徴です。葉緑素を持ち光合成によって炭水化物を自分で合成する半寄生植物と、葉緑素を持たず光合成をしない(栄養を完全に寄主に頼る)全(完全)寄生植物に、大きく分けられます。



【半寄生植物】

	<p>ヤドリギ:ブナやカエデなどの枝に丸く緑の茂みを作る常緑性の半寄生植物です。冬に薄黄色い実をつけ、実を食べた鳥たちが粘る液とともに種をまき散らします。冬枯れの木に寄生した株は探しやすいです。赤い実をつけるアカミノヤドリギも大山には多く見られます。古代日本では「ほや」と呼ばれ、延命長寿の木とされました。ヤドリギ科。</p>
	<p>ホザキヤドリギ:ブナやシデなどの高木の枝先に寄生する落葉性のヤドリギです。落葉性のため見つけるのが困難ですが、大山寺集落内にも生えています。晩秋に鮮やかな黄色い実を森で見つけたら頭上の枝の先に生えている可能性があります。ヤドリギ科。 ☞ 鮮やかな黄色い実がホザキヤドリギの実。半透明の一回り大きな実がヤドリギの実。</p>
	<p>ママコナ:山地の林縁などの乾いた場所に生育する半寄生植物。花卉に2つ並んだ白い膨らみが米粒のように見えること、または、若い種子が米粒に似ていることが和名の由来です。イネ科やカヤツリグサ科の植物に半寄生するらしいですが、寄生しなくても生育はするそうです。ハマウツボ科。</p>
	<p>キュウシュウコゴメグサ:コゴメとは小米のことで、白色の小さな花が米粒を思わせることが名前の由来です。イネ科の植物に半寄生する1年草で、大山では標高1200メートル以上の岩場に生えています。ハマウツボ科。</p>
	<p>シオガマギク:草丈20~50センチの半寄生の多年草。草地に生育する日本固有種で、イネ科の植物に半寄生します。スクリューのように咲く赤紫の花が特徴的で、羽のような葉脈の葉も美しく、謡曲「松風」の一節「浜で美しいのは塩竈(宮城県塩竈市)」を「葉まで美しいのはシオガマ」と洒落で命名されたとか。ちなみに塩竈とは無関係。ハマウツボ科。</p>

【全寄生植物】

	<p>ネナシカズラ:多様な植物に寄生し、主に草原で見られます。つる性の全寄生植物で葉は退化しており、生え始めは地中に根がありますが、黄色い茎から他の植物に根を出して栄養を吸い取るようになると、地中の根は枯れてしまいます。なお、発芽後、数日以内に寄生できないと枯れ死します。ヒルガオ科。</p>
	<p>キヨスミウツボ:アジサイやムラサキシキブ、カシ類など多様な植物の根に寄生し、普段は地下で生育しています。梅雨時期に白い花茎を伸ばして地上に現れ、多数の花を地面すれすれに咲かせます。大山ではエゾアジサイの根に寄生することが多いようです。鳥取県では絶滅危惧2類に指定されています。ハマウツボ科。</p>

※ギンリョウソウのような菌類に寄生して栄養素を得て生活する種子植物は、「菌従属栄養植物」と言います。

大山の森

探してみよう キヨスミウツボ

初夏に足元から香る寄生植物



大山の森で人知れず咲く白い花



2023年6月10日

花茎が地上に現れる

キヨスミウツボはアジサイやムラサキシキブ、カシ類など多様な植物の根に寄生する全寄生植物です。

初夏に大山の森を歩くと、足元からほのかに甘い香りがするので、群落があることに気づきます。



2023年6月13日

6月ごろに白い花茎が地上に現れ、草丈5~10センチの茎の先に5~10個の花をつけます。花茎は矢を入れる武具「鞆(ウツボ)」に似るハマウツボ科の植物で、1882年に千葉県清澄山で採集されたことからキヨスミウツボと命名されました。



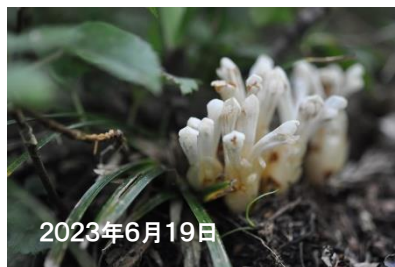
2023年6月16日

開花

甘い芳香が漂う

花には芳香のあるタイプ(芳香型)と無いタイプ(無香型)があり、無香型は自家受粉で種ができます。芳香型はユリやスミレのような上品な香りがします。花は、糖度約10パーセントの薄い蜜を多量に分泌しており、小型のマルハナバチが飛来します。夜間はスズメガなどが吸蜜しているかもしれません。※写真の花は芳香型です。

果実は1センチほどの楕円形で、中に多数の種が入った白色の液果。アカネズミや鳥類、カマドウマなど様々な森の生き物に食べられて、フンに混じった種から寄生根を伸ばすようです。



2023年6月19日

鳥取県では絶滅危惧2類に指定され、全国的にも珍しい植物です。くれぐれも踏みつけたり、採取したりしないようにしてください。

2023年7月22日 砲弾型の白い実



2023年6月22日



2023年7月2日





コラム:ヤセウツボ(ハマウツボ科)

ヨーロッパ・西アジア原産の完全寄生植物。マメ科植物を中心にキク科セリ科などに寄生します。1972年に牧草について千葉に上陸後、ほぼ本州全土に分布を広げました。大山では6月ごろに観光道路沿いで見られます。牧草や農作物に寄生すると、生長を阻害するため、外来生物法により要注意外来生物に指定されています。

イベント情報（4月～7月）

■自然公園財団のイベント

<p>○鏡ヶ成 カタクリとサンカヨウの花を愛でる 開催日：4月28日(日) 9:00～12:00頃 会場：江府町鏡ヶ成・擬宝珠山周辺 集合場所：休暇村奥大山前 参加費：1500円</p> 	<p>春先に花をつけ、夏まで葉をつけると、あとは地下で過ごす一連の草花を「春の妖精」と言います。「春の妖精」カタクリとサンカヨウに会いに擬宝珠山(1110m)を登ります。歩行距離約2キロ。高低差200メートル。 定員：15名 自然観察</p>
<p>○西明院谷 オルガニート演奏と春の花観察会 開催日：5月18日(土) 9:00～12:00頃 会場：大山寺 阿弥陀堂周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円</p>	<p>木々の青葉が美しい5月。大山の森で咲く花々を、花言葉を頼りに探してみましょ。花言葉から花と人のかかわりを、また花の色や形から花と虫のかかわりを探ります。春の花々がたくさん見れますよ。 定員：15名 自然観察 癒しの体験</p>
<p>○榎水高原 草原の花と昆虫観察会 開催日：6月8日(土) 9:00～12:00頃 会場：伯耆町榎水高原 集合場所：ますみず天空リフト下駐車場 参加費：1500円</p> 	<p>初夏、榎水高原の草原に咲く花々に、様々な昆虫たちが集まります。チョウを中心に昆虫と植物の不思議な関係を観察してみましょ。旅するチョウ「アサギマダラ」にも出会えるかも。 定員15名 自然観察</p>
<p>○鏡ヶ成 高地湿原の花観察会 開催日：7月6日(土) 9:00～12:00頃 会場：江府町鏡ヶ成湿原周辺 集合場所：休暇村奥大山前 参加費：1500円</p>	<p>奥大山の鏡ヶ成湿原は、大山に残された数少ない高地湿原です。夏に見ごろを迎える貴重な湿原植物の花を探し、湿原環境の保全について考えます。 定員15名 自然観察</p>

大山に新しいキャンプ場がオープン

「モンベル大山キャンプサイト」

夏山登山口の近くにある下山キャンプ場が、4月12日にリニューアルオープンします。

自然の植生をできるだけ活かして場内を整備。電源付きのオートサイトやフリーサイトなど、計63サイトを展開し、炊事棟やトイレも整っています。

お問い合わせは booking@montbell.com まで

また昨年リニューアルオープンした「**大山キャンプフィールド GOEN**」は4月1日から営業します。

お問い合わせ・予約は、大山ビューハイツ(0859-52-2518)まで



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地

〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33

大山ナショナルパークセンター(大山 NPC) 1階

TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370

URL <http://www.npfj.or.jp/daisen/>



ホームページ QR コード

※ホームページのアドレスが上記に変わりました